もっと道南
2013新春特集
NEW YEAR INTERVIEW

もっと北海道

人形の専門店として日本の伝統文化の意味をお客さまに伝えていきたい

函館市桔梗町、国道五号線沿いに位置する「人形の京菊」は、雛人形と五月人形をそれぞれ百セット以上という道南随一の品ぞろえを誇る専門店。東京出身の菊池氏は、商社などに勤務して全国を巡る中、秋田県で群を抜いた技量と独創性で現代の名工とも評される雛人形師の小倉草園と出会い、その圧倒的な職人技に魅せられ工房で修行を積む。その後、夫人の出身地である函館で人形専門店を創業。そんな菊池氏に、人形を飾る意味をはじめ、選び方や保管方法などについて伺った。

雛人形や五月人形を扱う上で大切にしている理念を教えてください

最も大切にしているのは、歴史や文化を継承するということですね。雛人形を飾る「上巳（じょうし）の節句」、五月人形や鯉のぼりを飾る「端午の節句」など日本には季節の変わり目のことを節日と呼び、お供え物や行事でお祝いをしたという歴史があります。ほかにも、お子さまが産まれたら、その成長にあわせて、お七夜、お宮参り、お食い初めなどのお祝いごとを行ってきました。雛人形や五月人形を飾るというのはその一環で、決してお人形を飾って終わりという訳ではありません。私は、お人形をただ売るということではなく、日本の伝統文化はもちろん、雛人形を飾る意味や祝い方などもお伝えしていきたいと考えています。

例えば、雛人形は結婚式を表しているんです。そこで願うのは、産まれてきた女の子が健康に育ち、良縁に恵まれて嫁いでほしい、という願いが込められています。本来なら雛人形の役割はそこで終わるので、お焚き上げなどで処分される方もいらっしゃいます。しかし、物を大切にという気持ちで、大事に受け継いでいくという使い方も私はいいと思います。

長い歴史を持つ人形文化は時代と共に変化していると思います 最近の傾向はありますか？

雛人形は平安時代から続いています。平安時代は女雛と男雛だけという小さな物でしたが、江戸時代に入ってから装飾や段飾りなど豪華になったとされています。最近の傾向としてはサイズですね。住宅事情で二段飾りやケース入りなど小さな物が主流になっています。飾る場所も、和室からリビングなどに変化したので、衣装や装飾品の色が洋室でも映えるようにカラフルなものが多いです。顔も目鼻立ちがはっきりした現代的な顔が人気ですね。

雛人形の顔は、専門の職人が手作業で作っています。例えば、顔は頭師（かしら）という職人がひとつひとつ彫って墨を入れていきます。その他、着物を織る職人、台や屏風を作る職人など、一セットの雛人形ができるまで百人近くの職人が仕事を施します。人形は、職人の技が結集した工芸品なんです。

現代的な表情の木目込人形

しまうタイミングや保管などの正しい方法を教えてください

「しまうのが遅れるとお嫁に行くのが遅くなる」という話がありますが、これについては史実によるよる根拠はありません。ひな祭りは三月三日の「上巳の節句」、五日の「端午の節句」、七日の「七夕」、九日の「重陽の節句」、三日の「本節句」、四日の「送り節句」という三日間が本来の期間です。なので、お人形をしまう時期は五日以降の天気が良く乾燥した日を選んでしまうことをおすすめしています。保管についてですが、最近はコンパクトなダンボールに収納されているので、入れる向きを間違えたりすると正しく収納できず、お人形を痛めてしまう危険性があります。お人形が届いたらすぐに出してしまいがちですが、最初の収納状況を写真に撮っておくとしまう時に非常に便利です。押入れに入れる場合でもなるべく上の段にスノコを敷いてしまうと湿気対策になります。それと、お人形には必ず取扱説明書が入っているので、一度だけでもそれを読んでいただければと思います。

雛人形や五月人形の小物は、小さくて繊細です。破損したりなくしたりという場合は、当店にも在庫はありますし、取り寄せることも可能ですし、お人形の修理も当店で可能なものであれば承りますので、ご遠慮なく相談していただければと思います。

お人形を購入する際のポイントはありますか？

お人形は手作業で作られるため、微妙に顔が違います。そういう物なので、ご予算内で気に入ったお人形があれば、その時点で決めてしまう方がいいです。一月の初めに気に入ったものを見つけて、二月に買おうと思ったら売れてしまっていたということも多いです。早めに探し始めることと、一期一会と思って早めに決断するのがポイントです。そして、お人形を飾ったら、おじいちゃんやおばあちゃんを招いてお祝いをしてほしいですね。節句のお人形は家族をつなぐ機会を作ってくれるものでもあります。改めて、家族団らんの楽しさや、お子さまの健康を願う場を作れるよう、今後もお客さまとの出会いを大事にしていきます。

人形の京菊
代表
菊池 厚夫（きくち あつお）氏

1953年生まれ。東京出身。
1971年 東京都の商社に勤務。
1979年 東京都の宝飾品販売会社に勤務。
1988年 人形の京菊創業。

人形の京菊
所在地　函館市桔梗2丁目19番6号
TEL（0138）46-0031　ホームページ http://www.kyougiku.com

店内フロアに展示される雛人形は道南随一の品揃えを誇ります

ホームページがリニューアルして商品がお求めやすくなりました。http://www.kyougiku.com

飾りが簡単、場所をとらないお雛様　ケース入り雛人形

ひな人形

節句人形専門店

創業二六年、道南随一の品揃え

可憐な微笑みと伝統美の輝きを雛人形がお伝えいたします

全国送料無料

社団法人日本人形協会会員加盟店

人形の京菊

営業時間/AM9:30～PM7:00・専用駐車場完備
お問い合せ・お電話でのご注文は 0120-444-753
〒041-0808 函館市桔梗2丁目19番6号（国道5号森沿い）TEL0138-46-0031

ショッピングクレジット 10回払いまで 手数料無料!
※ショッピングクレジットをご利用の方は印鑑・通帳が必要となります。

創業26周年 記念特別特典

1月20日までにひな人形ご予約のお客様に早期ご予約特典として「お被布」と「もうせん」をプレゼント中!

吉徳親王ケース

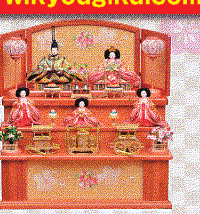
間口58cm×奥行36cm×高さ40cm
95,000円

春華五人ケース

間口67cm×奥行42cm×高さ50cm
128,000円

久月 収納飾り

間口64cm×奥行43cm×高さ58cm
98,000円

胡蝶雛五人飾り

間口69cm×奥行53cm×高さ70cm
98,000円

久月 収納飾り

間口65cm×奥行41cm×高さ57cm
104,000円

久月 収納飾り

間口63cm×奥行45cm×高さ58cm
108,000円

春日雛 収納飾り

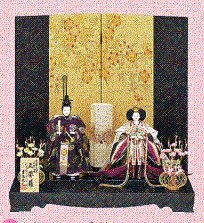
間口65cm×奥行42cm×高さ60cm
110,000円

久月収納五人飾り

間口60cm×奥行51cm×高さ62cm
120,000円

吉徳収納五人飾り

間口63cm×奥行43cm×高さ62cm
135,000円

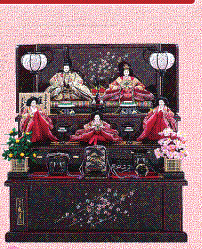
吉徳立雛

間口66cm×奥行47cm×高さ68cm
142,000円

久月収納五人飾り

間口70cm×奥行52cm×高さ70cm
143,000円

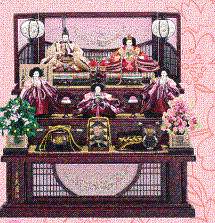
久月三段飾り

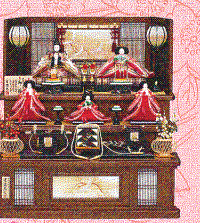
間口90cm×奥行89cm×高さ92cm
168,000円

久月三段飾り

間口90cm×奥行70cm×高さ98cm
188,000円

番桜雛 吉徳三段飾り

間口88cm×奥行78cm×高さ90cm
198,000円

久月三段飾り

間口90cm×奥行87cm×高さ93cm
235,000円

吉徳三段飾り

間口86cm×奥行78cm×高さ88cm
243,000円

●10回払いまで手数料無料はショッピングクレジットご利用の方とさせて頂きます。※印刷の都合上実際の色と異なる場合がございます。※季節商品のため品切れになる場合がございます。